

こうゆうスピリチュアルな話は好き嫌いが分かれると思うが、私は好きな方だ。胎内にいた時の話を、幼い私が母に話したということとはとても興味深く、何度も母から聞いた。この話をしてる母はとても嬉しそうである。母も知らないことを私が知っていたのは本当に不思議だ。今となってはその話をされるのは少し気恥ずかしいが、愛に溢れた時間が流れ、とても心地がいい。愛が世界を癒やすエネルギーというのが良く分かる。

愛を大きくするためには、自分を愛することも大切だ。私は自己否定してしまうことの方が多い。それは、人と比べてしまったり、人から言われたことにいちいち反応してしまったり、自分の思考グセや、感情を抑え込もうとすることで感情を狂わせてしまっているからだと思う。嫌なことをされたり、自分の劣っている部分を目の当たりにしたとしても、そういうことをする人や、自分の不完全さこそ感謝し、それを成長の糧にし、愛の力に変え、この世と宇宙を愛のエネルギーで満たしていかなければならない。少しずつだが理解できてきたので、以前のように悩むことは少なくなった。

コロナは愛に気付かせるためにやってきたとも言われている。自分が良ければ全て良いというような、傲慢で自分勝手な人々は、心を改めなければならない。地球、生物、人間、様々なものに愛を持って接し、皆のエネルギーによって、より良い未来を作っていきたい。私たちは皆一つの魂であり、愛そのものなのだから。